

宇宙から見た地球環境

— Liberal Arts の視座から考える —

日時 6月8日（土） 16時30分～18時

場所 成蹊大学14号館 5階 505室

（参加費無料、事前申込不要、定員130名）

講師 佐治 晴夫 氏（北海道・美宙天文台 台長）



「なぜ夜は暗いの？」

「それは宇宙に果てがあるからです」

NHKの「チコちゃんに叱られる」で名解説をされた
佐治 晴夫 先生が、宇宙から見た地球環境や人間存在の
不可思議さについてお話しくださいます。ぜひご来場ください。

「太陽系の第3惑星として地球がかかえる諸問題
と地球上の平和を含む環境問題をからめて、
最先端の自然科学、人文科学、芸術、宗教など、
リベラルアーツの知見を基に考察し、生きること
の意味についても言及できればと思います。」



佐治 晴夫 先生のプロフィール

1935年東京生まれ。理学博士（理論物理学）。東京大学、ウィーン大学での研究生活後、玉川大学教授、県立宮城大学教授、鈴鹿短期大学学長などを歴任。無からの宇宙創生に関わる「ゆらぎ」の理論研究やNASAの宇宙探査機・ボイジャーに地球文明のタイムカプセルとしてバッハの音楽を搭載することの提案などでも知られる。音楽をこよなく愛し、金子みすゞの詩による歌曲作品などもある。現在北海道・美宙天文台台長。大阪音楽大学客員教授。日本文藝家協会所属。著書：「14歳のための時間論」春秋社、「14歳のための宇宙授業」（春秋社）、「詩人のための宇宙授業—金子みすゞの詩をめぐる夜想的逍遥」JULA出版、他多数。



主催 成蹊学園サステナビリティ教育研究センター

問合せ先 Email : ercs@jc.seikei.ac.jp TEL : 0422-37-3480

